



2023年10月11日

各位

会社名 株式会社ヤマザワ
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭
(コード番号 9993 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 工藤 和久
(TEL. 023-631-2211)

2024年2月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異

および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月1日に公表しました2024年2月期第2四半期累計期間（2023年3月1日～2023年8月31日）の連結業績予想値と本日公表の実績値との差異について、および2024年2月期通期（2023年3月1日～2024年2月29日）の連結業績予想値について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年2月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績の差異

(1) 第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異（2023年3月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 52,000	百万円 400	百万円 450	百万円 80	円 銭 7.34
今回発表実績 (B)	50,650	532	570	1,024	95.13
増減額 (B-A)	△1,350	132	120	944	
増減率 (%)	△2.6	33.0	26.7	1180.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年2月期第2四半期)	50,309	683	726	433	39.78

(2) 差異の理由

第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の位置づけ移行に伴う制限緩和を受けて、消費者の外出機会の増加、物価高による可処分所得の減少といった外部環境の変化がある中で、業種・業態の垣根を超えた競争の激化や消費者の節約志向の高まりなどにより、売上高は前回発表予想を下回りました。また、販売費及び一般管理費において、光熱費が使用量削減の取組みや、燃料調整費が想定ほど上昇しなかったことに加え、DX推進による生産性改善、コスト削減委員会によるコスト削減への取組みを継続的に取り

組んだ結果、営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益いずれも前回発表予想を上回りました。

なお、親会社に帰属する四半期純利益の前回発表予想と実績の差異につきましては、2023年7月12日に公表しました、「法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ」のとおりでございます。

2. 2024年2月期通期連結業績予想値の修正

(1) 通期連結業績予想値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 103,000	百万円 650	百万円 700	百万円 160	円 銭 14.69
今回修正予想（B）	103,000	650	700	400	36.74
増減額（B-A）	0	0	0	240	
増減率（%）	0.0	0.0	0.0	150.0	
（ご参考）前期実績 （2023年2月期）	99,457	710	928	205	18.90

(2) 修正の理由

2024年2月期通期の連結業績予想値につきましては、上記にも記載のとおり法人税等調整額（益）を計上済であり、過年度における改装店舗・新設店舗におきまして、一部店舗に業績の伸び悩みによります減損の兆候が生じる可能性を加味した場合におきましても、親会社株主に帰属する当期純利益が期初の業績予想を上回る見込みとなりました。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上